

AMI Automation の株式 100%取得について

～DX 関連エンジニア 200 人が在籍、レゾナックグループ全体の DX 強化も～

株式会社レゾナック（社長：高橋秀仁、以下、レゾナック）は、このたび、産業向け自動化ソリューション事業を手掛ける AMI Automation（メキシコ、以下、AMI）の株式を 100%取得することを決定しましたのでお知らせします。

レゾナックは、2021 年 2 月 5 日に AMI の 50%の株式を取得しており、その後 5 年以内に残りの 50%の株式を取得するオプションを保有していました。今回は、レゾナック子会社を通じて残り 50%の株式を追加取得し、100%取得を完了いたします。本手続きの完了は 2023 年第 3 四半期を予定しています。

AMI は、ハードウェア・ソフトウェア・サービスを通じて自動化ソリューション事業を幅広い産業にグローバルに展開しています。特に鉄鋼業界で使用される電気製鋼炉（以下、電炉）向けの運転最適化ソフトウェアが、今後も市場成長が大きく見込まれる北米において生産量ベースで約 90%の電炉鋼生産に活用されるなど、世界的なイノベーションリーダーとして認知されています。一方、レゾナックは、グラファイト事業において世界 6 拠点に生産設備を有し、世界トップの生産能力を持ったグローバルリーダーとして、高品質な黒鉛電極を展開しています。

今回の AMI の株式 100%取得によって、レゾナックのグラファイト事業は、黒鉛電極という“モノ”の提供から製造現場のデジタル化を支援する“サービス”を提供する事業モデルへ進化させます。すでに、AMI の電炉運転最適化ソリューションにより、お客様の電炉運転の高効率化、安全性の向上、省エネルギー、温暖化ガス排出量削減といった大きな付加価値の提供を開始しています。

AMI には、約 20 名の AI エンジニアを含む、約 200 人の DX 関連エンジニアが所属しています。上記の電炉向けソリューション提供のみならず、今後は彼らが、レゾナックの DX の強みの源となる計算科学・情報科学を扱う計算情報科学研究センターや、DX 活動を推進する CDO 組織と連携し、レゾナックグループ全体の DX 化を加速していきます。くわえて、電炉向けの運転最適化システムの提供にとどまらず、AMI は製紙、セメント、石油するなど、さまざまな幅広い産業向けに生産自動化・制御ソリューションを提供しており、今後は製造現場の支援についても共同プロジェクトを進めます。

* 2021 年 2 月 8 日発表のリリース「[AMI Automation への出資について](#)」

(<https://www.resonac.com/jp/news/2021/02/08/284.html>)

以上

【AMI Automation について】

設立	1987 年
本社所在地	メキシコ ヌエボ・レオン州モンテレイ
主な事業内容	Meltshop Solutions 事業： 電炉向けの運転最適化システムと黒鉛電極の制御システム Industrial Systems 事業： 各種産業向けの生産自動化・制御ソリューション
従業員数	約 260 人（2023 年 5 月現在）

【Resonac（レゾナック）グループについて】

レゾナックグループは、半導体・電子材料、モビリティ、イノベーション材料、ケミカル等を展開し、川中から川下まで幅広い素材・先端材料テクノロジーを持つ化学会社です。2023 年 1 月に昭和電工グループと昭和電工マテリアルズグループ（旧日立化成グループ）が統合し、新たなスタートを切りました。新社名の「Resonac」は、英語の「RESONATE：共鳴する・響き渡る」と、Chemistry の「C」を組み合わせで生まれました。レゾナックは「共創型化学会社」として、共創を通じて持続的な成長と企業価値の向上を目指しています。2022 年度の売上高は約 1 兆 4 千億円、うち海外売上高が 56% を占め、世界 22 の国や地域にある製造・販売拠点でグローバルに事業を展開しています(2023 年 1 月時点)。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

株式会社レゾナック・ホールディングス <https://www.resonac.com/jp/>

◆レゾナックグループのグラファイト事業について

グラファイト事業では、金属スクラップを溶解し鉄鋼を生産する電炉の電極として使用されている黒鉛電極を生産・販売しています。鉄鉱石から鉄鋼を生産する高炉に比べて、電炉は約 1/4 の CO₂ 排出量で鉄鋼を生産できるため、世界全体で高炉から電炉への置き換えが進んでいます。2028 年には、年間 5～7 万トンの新たな黒鉛電極の需要が見込まれます（当社調べ）。特に、電炉の割合が 7 割を占める米国での電炉新設計画が増加。レゾナックが得意とする 28 インチ（700 mm）以上の大口徑電極の需要が今後ますます伸びることが期待されています。

◆ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社レゾナック・ホールディングス

ブランド・コミュニケーション部 広報グループ

TEL 03-5470-3235